

貸借対照表

(平成16年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	1,141,839	流動負債	5,316
現金預金	117,132	未払金	2,257
買取債権	1,009,490	未払法人税等	290
前払費用	7,782	未払費用	577
その他	7,435	賞与引当金	1,339
固定資産	23,590	その他	851
有形固定資産	1,366	固定負債	850,000
建物	1,150	長期借入金	850,000
器具備品	215	負債合計	855,316
無形固定資産	963	(資本の部)	
電話加入権	963	資本金	500,000
投資その他の資産	21,261	利益剰余金	189,855
長期前払費用	1,343	当期末処理損失	189,855
敷金および保証金	19,917	資本合計	310,114
資産合計	1,165,430	負債・資本合計	1,165,430

損益計算書

(平成15年4月1日から平成16年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目		金 額	金 額
経常損益の部	営業収益		
	買取債権回収額	651,186	
	その他の営業収益	2,933	654,120
	営業費用		
	買取債権原価	398,308	
	販売費及び一般管理費	245,086	643,394
	営業利益		10,725
	営業外収益		
	受取利息	0	
	雑収入	7	7
営業外費用			
支払利息		6,409	
経常利益		4,324	
税引前当期純利益		4,324	
法人税、住民税及び事業税		290	
当期純利益		4,033	
前期繰越損失		193,919	
当期末処理損失		189,885	

【重要な会計方針】

1. たな卸資産の評価基準および評価方法

買 取 債 権	個別法による原価法
---------	-----------

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産	定率法 なお、主な耐用年数は次のとおりであります。
	建 物 3～15年
(2) 長期前払費用	均等償却

3. 引当金の計上基準

賞 与 引 当 金	従業員に対して支給する賞与の支出に備えるため、将来の支給見込額のうち当期の負担額を計上しております。
-----------	--

4. リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引にかかる方法に準じた会計処理によっております。

5. 消費税等の会計処理

消費税および地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。なお、控除対象外消費税等は当期の費用として処理しております。

【貸借対照表注記】

1. 有形固定資産の減価償却累計額 666 千円

2. 支配株主に対する金銭債務
短期金銭債務 331 千円
長期金銭債務 850,000 千円

3. 税効果会計関係

繰延税金資産および繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

繰越欠損金	76,267 千円
その他の	687 千円
繰延税金資産合計	76,955 千円
評価性引当額	76,955 千円
貸借対照表計上額	- 千円

4. 貸借対照表に計上した固定資産のほか、リース契約により使用している重要な固定資産として、器具備品および電子計算機があります。

5. リース取引関係

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引

(1) リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額および期末残高相当額

	取得価額 相当額	減価償却 累計額相当額	期末残高 相当額
器具備品	81,879	41,606	40,273 千円
計	81,879	41,606	40,273 千円

(2) 未経過リース料期末残高相当額

	1 年以内	1 年超	計
	20,761 千円	20,519 千円	41,280 千円

(3) 当期の支払リース料、減価償却費相当額および支払利息相当額

支払リース料	20,998 千円
減価償却費相当額	19,990 千円
支払利息相当額	1,228 千円

(4) 減価償却費相当額の算出方法

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

(5) 利息相当額の算出方法

リース料総額とリース物件の取得価額相当額との差額を利息相当額とし、各期への配分方法については、利息法によっております。

(6) 当期より、減価償却費相当額の算出方法を級数法から定額法へ変更しております。この結果、従来と比較して減価償却累計額相当額が 15,572 千円少なく、減価償却費相当額が 3,348 千円少なくなっております。

6. 資本の欠損額 189,855 千円

7. 千円未満の端数は、切り捨てて表示しております。

【損益計算書注記】

1. 支配株主との取引高
営業費用 3,670 千円
営業取引以外の取引 6,493 千円

2. 1 株当たり当期純利益 403 円

3. 千円未満の端数は、切り捨てて表示しております。